

## 【会社概要】

名称	一般社団法人 全国銀行資金決済ネットワーク(全銀ネット)
英文表記	Japanese Banks' Payment Clearing Network (Zengin-net)
代表者	理事長(代表理事) 辻 松雄
役員数	理事長 / 理事10名 / 監事2名
URL	<a href="https://www.zengin-net.jp/">https://www.zengin-net.jp/</a>
設立年月日	2010年4月1日
基金	5億円
事業内容	主務大臣(内閣総理大臣)の免許を受けて、「資金決済に関する法律」で定める資金清算業および関連する業務を営んでおります。 具体的には、全国銀行内国為替制度、全銀システムおよび全銀EDIシステムを運営するとともに、「資金決済に関する法律」にもとづく日本唯一の「資金清算機関」として、日々の銀行間資金決済を担っております。

支払企業にも、受取企業にもメリットがたくさん

## 全銀EDIシステム

# 「ZEDI<sup>(ゼディ)</sup>」のご案内



インボイス制度  
などさまざまな  
取組みとも連携



バックオフィスの業務の  
効率化・生産性向上を実現!



請求・決済データの  
標準フォーマットで  
使いやすく



 **金融庁**  
Financial Services Agency

 **EIPA** デジタルインボイス推進協議会  
E-Invoice Promotion Association

 **JBA** 一般社団法人  
Japanese Bankers Association **全国銀行協会**

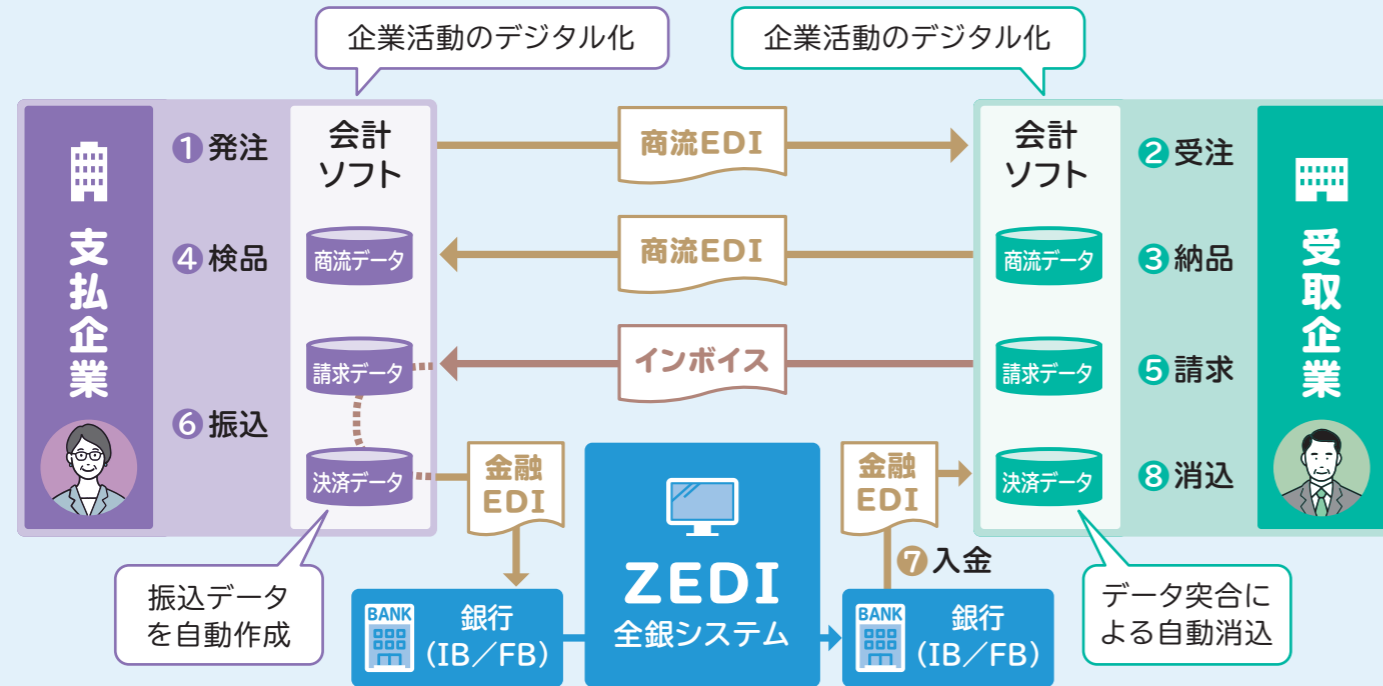


**全国銀行資金決済ネットワーク(全銀ネット)**



## バックオフィスの業務の効率化・生産性向上を実現！

全銀EDIシステム（愛称：ZEDI／ゼディ）は、全国銀行資金決済ネットワーク（全銀ネット）が提供するデータ連携システムです。総合振込に添付された請求データを相手先の企業に連携することが可能となります。



### 支払企業にも、受取企業にもメリットがたくさん

受発注・請求から決済までをデジタル化し一気通貫でデータ連携することで、バックオフィス業務の自動化・効率化が進み、人手不足の解消と生産性の向上が可能となるほか、経営状態（資金繰り）の見える化にも繋がります。

#### 支払企業（発注企業）のメリット

- 相手先から受領したデジタルインボイスをもとに、請求データが添付された総合振込の作成を自動化。
- 振込・入金データからオンライン・リアルタイムで取引内容を確認することが可能となり、受取企業からの問い合わせが削減。

#### 受取企業（受注企業）のメリット

- 総合振込に添付された請求データをもとに、入金消込作業を自動化。
- 振込・入金データからオンライン・リアルタイムで取引内容を確認することが可能となり、請求書と入金額の差額の原因特定が容易に。

デジタルインボイスおよび決済への連携（ZEDI）に対応した会計ソフト等を導入いただければ、請求・決済データ連携を実施することが可能となります。

詳しくはソフトウェアベンダ等にご相談ください。

全銀ネットのウェブサイト  
ZEDI対応ソフトなどを  
ご紹介しています。

ZEDI対応製品  で検索

## インボイス制度などさまざまな取組みとも連携

### デジタルインボイス

インボイス制度を契機として、請求業務のデジタル化の進展が見込まれます。全銀ネットでは、デジタルインボイスの標準仕様をベースとして、業界横断的にデータ連携するための金融EDI情報として「DI-ZEDI（ディーアイゼディ）」を制定しました。

### デジタル化施策と連携

国を挙げて、受発注から請求・決済に至る企業間取引・バックオフィス業務のデジタル化やデータ連携の促進に向けたさまざまな取組みが進められており、全銀ネットでは、こうした取組みとも連携を行っています。

## 請求・決済データの標準フォーマットで使いやすく

全銀ネットがデジタルインボイス標準仕様をもとに制定した「DI-ZEDI」は、政府相互運用性フレームワーク（GIF）のベースにもなっています。金融EDI情報として、この「DI-ZEDI」を利用することで、取引先企業の業種や利用ソフト等を気にすることなく、請求・決済データの連携が可能となります。

### デジタルインボイス標準仕様

「デジタルインボイス標準仕様」は、デジタル庁が、グローバルな標準仕様である「Peppol（ペポル）」をベースとして策定したものです。「DI-ZEDI」は、当該標準仕様の適格請求書「JP PINT」および仕入明細書「JP BIS」に対応しています。

### 政府相互運用性フレームワーク

「政府相互運用性フレームワーク（GIF）」は、データの相互運用性を担保する観点からデジタル庁が定める技術的体系で、「DI-ZEDI」および「デジタルインボイス標準仕様」をベースに、GIFの一つとして「実装データモデル（金融）消込」が策定されています。

DI-ZEDIの項目	入力	属性
請求書タイプコード [Invoice type code]	必須	半角数字3文字
請求書番号 [Invoice number]	必須	全半角35文字以内
請求書発行日 [Invoice issue date]	必須	半角10文字
請求金額（税込） [Invoice total amount with TAX]	任意（推奨）	半角18文字以内
売手（受注）企業の登録番号 [Seller TAX identifier]	必須	半角英数字14文字
買手（発注）企業の登録番号 [Buyer TAX identifier]	任意（推奨）	半角英数字14文字
振込手数料負担	任意	半角数字3文字
備考	任意	全半角140文字以内

「ZEDI」については、お取引金融機関にお問い合わせください。

全銀ネットのウェブサイト (<https://www.zengin-net.jp/>) に、ZEDI取扱金融機関一覧等の各種参考情報を掲載しています。

